



「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」から

校長 大井 千津子

3月に入りました。3月の授業日数は16日と短いのですが、学習内容を確実に身につけ、新しい年度につないでいく大切な月です。1年間を振り返り、よいところは伸ばし、足りないところを補って、新しい年度を迎えるようにしたいと考えています。

さて、昨年、文部科学省は、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を全国の小学5年生と中学2年生を対象として実施し、先月、その結果を公表しました。握力をはじめ上体起こし、20メートルシャトルランなど8種目にわたって行われ、本校の児童11名も参加しました。児童の身体の状態を知り、学校として今後の取り組みに生かしていく上での重要な調査でした。富山市の小学5年生の姿です。

体力合計点は、男女ともに全国平均を上回っている。

男子は、長座体前屈(柔軟性)を除いて、全国平均と同等または上回っている。

女子は、長座体前屈、20M シャトルラン(持久力)を除いて全国平均と同等または上回っている。

(H20 富山市小学5年生)

種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20M STR	50M走	立ち幅とび	ソフトボール投	体力合計点	
	(kg)	(回)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(cm)	(m)		
男	富山市	17.4	19.2	31.9	42.8	50.7	9.4	157.3	25.8	55.0
	全国	17.0	19.1	32.7	41.0	49.4	9.4	154.0	25.4	54.2
女	富山市	17.0	17.9	36.4	40.8	38.4	9.6	150.3	15.3	56.2
	全国	16.5	17.6	36.6	38.8	38.7	9.6	145.7	14.9	54.8

本校でも柔軟性がやや劣るという傾向を示しました。

また児童への質問による調査では、運動が好きと答えた児童が多いということ、さらに、土曜日に運動やスポーツをしている児童が全国に比べて多いものの、1日の運動平均時間は、全国に比べて短いということも分かりました。市教育委員会では、運動への意欲を生かし、定期的に体を動かす機会を設定するとともに、適度な運動量を確保する必要があるとしています。

本校では、2限終了後に体力づくりタイムを設けて、縄跳びや持久走、一輪車やまとあてなどに取り組んできました。運動委員会の児童が中心になって鬼ごっこ大会を開いて、全校で楽しく運動に取り組む活動もしました。来年度はこの取り組みを一層充実して、運動量を確保しながら子供たちの体力向上に努めていきたいと考えます。

さらに児童への質問による調査からは、1日のテレビ視聴時間が長いという結果も出ており、これらのことから、日常生活においても自発的・自主的に運動に取り組むようにしていくことが大切だと思われます。これからは日ごとに春めいて、屋外での運動がしやすい季節になります。ご家庭でも声を掛け合って体を動かす、運動を楽しむといった姿が見られたら素晴らしいと思います。

音川小学校 ちよっといひ話

スタツ、スタツ：廊下から足音が聞こえてくると、青空級の子供たちは我先にと廊下に出ます。

「いつもご苦労様です！」と、子供たちの元気な声が廊下から聞こえてきます。そう、先ほどの足音は、給食の後片付けにいられた調理員さんのものなのです。子供たちは毎日この挨拶をかしません。働いておられる方には「いつも、ご苦労様です」と言うのだよと、調理員さんを前に一度教えたことを、子供たちはそれ以来ずっと実践してくれているのです。

新しくこの青空級に入った一年生にも、最初の給食の日にはさつそく廊下に連れ出し、「Mさん、挨拶するんだよ。いっつもご・ご・く・ろ・う・さ・ま・で・す。」

と、礼をするようにと頭を下げて見せ、青空級伝統(?)の挨拶を教えていました。

うれしいことに、子供たちが挨拶をすると、決まって調理員さんが「ありがとうございます。」と、子供たちにお礼を言うてくださいます。子供たちの顔にぱつと笑顔が広がり、どの子も達成感に浸っています。これが、また挨拶をしようとする原動力になっているのでしよう。

「挨拶は心と心のキャッチボール」という言葉を聞いたことがあります。子供たちにはどんな人々と挨拶をかわし、心と心をどんな人々と交わしていつてもらいたいものですか。そして、自分たちがいろんな人に支えられていることも忘れず、これからも働いている人に対する感謝の気持ちを言葉を通して表現していつてもらいたいものです。



自信がもてない子供たち PTA講演会より

2月6日に行われたPTA講演会では、「子育てハッピーアドバイス」～自己肯定感を育む子育てを考える～と題して、真生会富山病院明橋大二先生にご講演をいただきました。

文部科学省の「中学生の生活と意識に関する調査」によると、
＜時々自分が役に立たない人間だと思うと答えた子供の割合＞

日本56.4%、米国32.0%、中国25.4%

＜自分は他者に劣らず、価値のある人間だと思うと答えた子供の割合＞

日本31.5%、米国81.5%、中国86.6%

という結果があり、日本の子供たちは極端に自己肯定感が低いとのこと。つまり自分に自信がもてない子供たちが多いということになります。実際、日本には、「最近の若い者は」や「近頃の子供は」というように若い世代を批判的に見る傾向があり、認められることや褒められることが少ないと言われる。子供たちの自信は親に十分に甘えられ、大切にされることで自分には価値があると思えるところから育ってくるのお話を聞いて、以前米国の小学校の授業を参観した時のことを思い出しました。どのクラスでも実に堂々と自分の意見を主張する子供たちと、見事にほめて自信を持たせる先生方の姿を目にして、自分の考えを表現する訓練とほめて伸ばす姿勢の大切さを強く感じて来ました。あれもこれもできてない、もっと～しなきゃだめじゃないかと要求することばかりが先行しがちな自分を振り返って、反省させられた講演でした。子供たちに自信をつけられる接し方、指導の在り方をしっかり考えたいと思います。

3月の行事予定

- 2日(月)交通安全街頭指導委員会活動(6限)
- 3日(火)英語活動(5限後、下校)第3回学校評議員会
- 4日(水)人権週間(～10日)
- 5日(木)PTA全体役員会
- 6日(金)卒業おめでとう集会
- 11日(水)避難訓練
- 12日(木)地区児童会
- 16日(月)交通安全街頭指導卒業式予行
- 19日(木)卒業証書授与式
- 20日(金)春分の日
- 23日(月)給食最終日
- 24日(火)平成20年度修了式
- 25日(水)学年末休業(4月5日(日)まで)
- 30日(月)離任式

4月の行事予定

- 6日(月)1学期始業式 着任式
- 7日(火)入学式
- 8日(水)発育測定
- 9日(木)1・2年交通安全教室1年給食開始
- 10日(金)聴力検査

学校ホームページに学級だよりを掲載しました。子供たちの写真と氏名が一致しないようにし、文中の氏名も名前だけの表記として、個人情報保護に配慮していますが、お気づきの点がありましたら遠慮なくお知らせください。